

みんなの

がっこうのどうぶつ

第12号 2015年7月上旬



学校飼育動物
ニュースレター



印刷はA4横



公益社団法人 栃木県獣医師会
学校飼育動物委員会

〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和1-1-23
☎ 0286(22)7793 Fax0286(21)9660

[栃木県獣医師会](#) [学校飼育動物委員会](#)

梅雨の過ごし方の 注意点

梅雨の飼育舎では、病気の問題と雨水の問題に注意が必要です。

湿気が多くなると、ウサギは身体的にストレスを受け、眼の病気や鼻の病気になることや慢性経過の病態が悪化することがあります。症状を見つけた時にはお早目に獣医師にご相談ください。

飼育舎が老朽化している場合には、錆びた部分などから雨水が侵入することがあります。また、雨が強い時に飼育舎内に雨が吹き込むことがあります。雨が降っている時に飼育舎を点検し、雨の侵入がないかを点検しておくことが大切です



老朽化し、錆びた鉄骨と浸水の形跡

Topics



鼻炎による鼻汁



結膜炎による目ヤニやウルウル感

こんな時は獣医師に相談 してください！

上の画像は、鼻炎（細菌性）の特徴的的症状です。鼻汁が観察されます。

下の画像は、結膜炎（細菌性）の特徴的的症状です。目ヤニや充血が観察されます。

ともに慢性的な経過を辿りますが、この時期に悪化することが多いです。

根拠に基づく動物飼育

方法-3

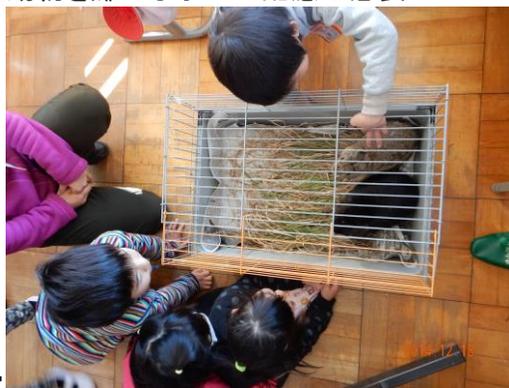
● 室内飼育

【利点】

- ・日常的に観察することができる
- ・世話がしやすい
- ・動物を清潔に保てる
- ・身近に感じることができ、愛着を感じる
- ・教室内の緊張の「解消効果」がある
- ・大規模な飼育舎を必要としない
- ・気候の変化の影響を受けにくい
- ・様子の変化に早く気付ける

【欠点】

- ・子供の注意が散漫になる(授業中)
- ・衛生的な不安を感じる(給食時)
- ・動物のアレルギーへの配慮が必要
- ・長期休暇中のトラブルが起こることがある
- ・運動不足になりやすい
- ・教師個人の責任や負担が重い
- ・動物を嫌いな子への配慮が必要



欠点を補う

教室での飼育は、本来の動物飼育の目的を効果的に獲得することに適していると考えられていますが、欠点とを感じる部分も多く存在します。

教室では、左段の画像のように子供たちの注目を集めます。授業中などでは、授業の進行の妨げになることもあるでしょうし、動物アレルギーの子供に対する不安も生じます。

下の画像は、使用していない教室(プレイルームなど)を利用した、教室飼育の一例です。

授業の部屋と別の部屋で飼育することで、授業の妨げになることが防げますし、動物アレルギーの子供さんとも隔てることができます。

ただし、夏場の暑熱対策が必要になります。暑い時には職員室などの温度管理が可能な部屋へ移動する必要があります。



下の画像は、職員室前にゲージを置いて飼育している一例です。

教室でなくても、飼育する場所を工夫することで、室内飼育の欠点を補うことができます。



アンケートにご協力ください

ニュースターを読んだ方は、下記のQRコードをスキャンしてください。YOUTUBEの視聴回数を読者数とさせていただきます。



問題

この「とり」は「なんていうトリ？」

